

事前防災地区整備プロジェクト かみやはぎ 上矢作地区

(恵那市 上矢作町 東木の実)



1. 現状と課題

令和2年7月の豪雨により溪流が侵食され、土砂や倒木が堆積しています。下方には人家、簡易水道施設、国道等があり、今後の豪雨により被害を及ぼすおそれがあります。また、周辺の森林は手入れ不足により林内に光が届かず、下層植生が衰退しているため適切な管理が必要です。

2. 対策

溪流に堆積している土砂の移動を防止するための谷止工の設置、危険木の除去、下層植生や木の根の発達を図るための間伐を計画しました。これまでに12基の谷止工を施工するとともに、33ヘクタールの間伐を実施しました。

計画の実施に当たっては、効果的な整備による山地防災力の向上を図るため、県、恵那市、森林組合の3者で連携会議や現地研修会を行っています。治山工事と森林整備を隣接した箇所で行うため、実施時期や範囲などについて綿密に調整し、安全な事業実施に努めました。